

科目名	医療者として子育てと子育て環境を考える
-----	---------------------

担当 責任者	下村 英毅	所属	小児科	職名	臨床准教授
-----------	-------	----	-----	----	-------

到達目標 (アウトカム)	子育てと子育て環境を取り巻く様々課題を医師としてどのように受け止めて関わる ことができるかを考える。
-----------------	---

【1. 授業概要】

<p>現在、日本では少子化の加速に直面している。2024年の年間出生数は約68.6万人と、統計開始以来初めて70万人を割り込み過去最少を更新した。一方で2024年度の小中学校における不登校児童生徒数は約35.4万人と過去最多を更新し、虐待件数は増加している。子どもの数は減っているにもかかわらず、なぜこのような状況が続いているのだろうか。背景には、経済的な問題、発達の高齢性への社会的理解の不足、家族機能の高齢化など、診察室の外側に広がる複雑な社会環境が高齢化している。</p> <p>本科目ではまずは子育て・子育て環境を取り巻く社会的な状況を、学生が自律的に正確な情報を収集し、現状の課題とそれに対して国や自治体が行っていることを整理していく。その後、医療者として何を求められているか、自分たちが何をできるのかを議論することを中心に、一緒に考えていきたい。</p>

【2. 履修学生の心構え】

<p>日常的に医療者の視点から様々な社会的な課題に対して、自分が何をできるのかを考えてもらいたい。本科目においては正解を求めることを重視するのではなく、正確な情報をもとに論理的かつ合理的に考えることを目的としたい。自分の意見を積極的に述べることが求められる。</p>

【3. 成績の評価方法・基準】

<p>授業への積極的な参加（発言など）（30%） 正確な情報収集と解析・考察（30%） 議論の質（思考の柔軟性、他者の意見への配慮、批判的思考）（30%） レポート（10%）</p>

【4. 教科書・参考書】

特に無し。実習時には資料のWeb検索等を行うので、タブレットやPCを持参してください。

【5. その他 履修要件、履修者へのコメント等】

各実習内容のテーマについて事前に社会的な課題としてどのような情報が世の中で知られているかを予習していただきたい。授業計画に記載されたテーマは暫定的なものであり、当日の議論の続きで次回のテーマは柔軟に変更していく予定である。むしろ学生から積極的に新たなテーマを提示してもらいたい。

授 業 計 画 【 水 曜 開 講 分 用 】

実施日	時 限	講義・実習内容	担 当 教 員		
			氏 名	職 名	所 属
4/15	水 5	子どもが生活する社会環境と課題	下村 他	臨床准教授	小児科
4/22	水 5	不登校からみえてくる子育ての課題	下村 他	臨床准教授	小児科
5/13	水 5	子育てについて（幼児期～学童期）	下村 他	臨床准教授	小児科
5/20	水 5	子育てについて（思春期）	下村 他	臨床准教授	小児科
6/10	水 5	神経発達症について	下村 他	臨床准教授	小児科
6/17	水 5	境界域知能について	下村 他	臨床准教授	小児科
6/24	水 5	虐待にどうかかわるか	下村 他	臨床准教授	小児科
7/1	水 5	医療的ケアが必要な子どもたち	下村 他	臨床准教授	小児科

